

犬の鑑札・注射済票の装着方法（例）

犬の鑑札・注射済票を装着することは、**法律で決められている飼い主の義務**です

結束バンドを用いた方法

【注意】結束バンドは劣化します。必ず定期的に点検し交換してください

（年1回の注射済票の交換とあわせて、鑑札のバンド交換をおすすめします）

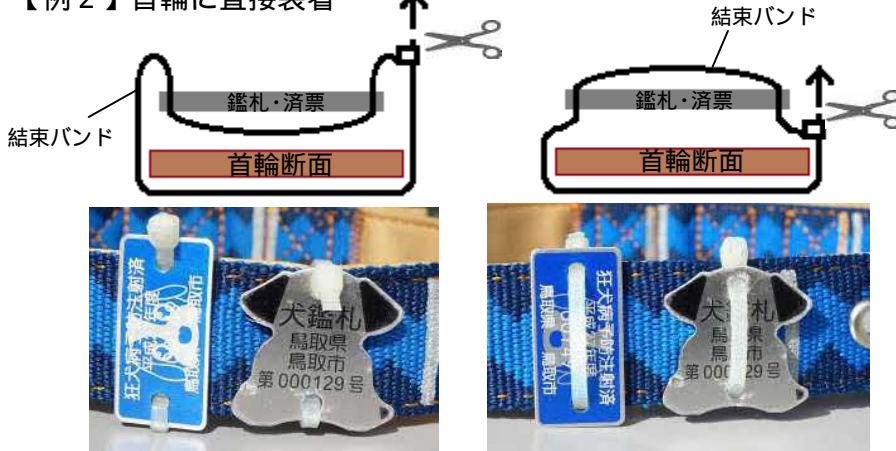
結束バンドはホームセンターや100円ショップで販売しています。穴のサイズを確認してください（一般的に幅2.0~2.5mmの結束バンドが良いようです）。

結束バンドのほか、園芸などに使う細ワイヤーなども使えます（引っかかりたり、ケガをしないよう、ワイヤーの端を鑑札等の裏側に入れ込んでやってください）。

【例1】首輪の穴を利用



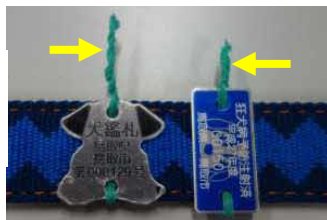
【例2】首輪に直接装着



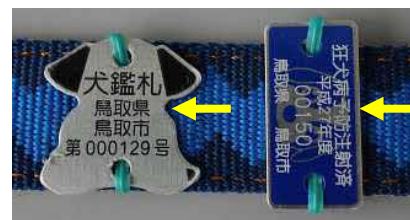
【例3】カンに装着



園芸用細ワイヤー
を利用



端を鑑札等の
裏側に折込む



首輪に縫い付ける方法

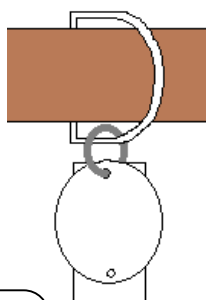


糸が切れないよう、しっかりと縫い付けましょう！

リングを用いた方法

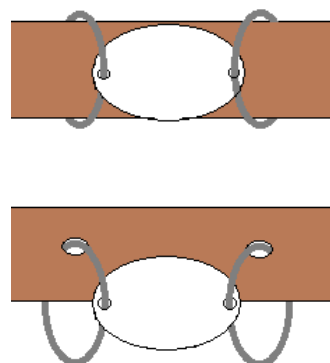
リングはホームセンター等で販売しています。不要になったキーホルダーを再利用することも出来ます。

【例1】リング1個を使用する方法



犬によってはカチャカチャ鳴る音を嫌がることもありますが、少ししたてば慣れます

【例2】リング2個を使用する方法



ケースを利用する方法

鑑札と注射済票をケースに入れて、これを首輪に面ファスナーやボタンなどで装着出来るケースが市販されています。

首輪を洗ったり、首輪をよく交換する場合は、取り外しができるこのケースタイプが便利です。



迷子札をつけましょう

犬の鑑札と注射済票の装着は飼い主の義務ですが、それだけだと、番号を市町村に問い合わせないとは飼い主がわかりません。飼い主の名前、連絡先を書いた迷子札も一緒につけましょう。**迷子札があると、保護した方がすぐに飼い主に連絡することができます。**

「市販の迷子札を利用する」「首輪に書く」「洋服に書く」「洋服に名前シールをアイロンで貼り付け・縫い付け」など、色々な方法があります。

室内犬でも、迷子札は必要です。お守りとしてつけてあげましょう。



犬の鑑札・注射済票を装着することは、**法律で決められている飼い主の義務**です

**装着していれば、おうちに帰れます！
愛犬の命を守れるのは、飼い主のあなただけです！**

